

呉市教育会

呉市教育会は、市民参加を主体とした、呉市の教育を支援する民間教育団体です。1961年、教育の正常化と青少年の非行防止を旗印に、学校・家庭の教育力の回復と社会の教育環境の浄化を目指して発足しました。以降60年間、地域・幼稚園・保育所・学校と連携しながら、家庭教育、社会教育および学校教育の支援に取り組むなど、呉市教育の充実発展に多大の役割を果たしてきました。

現在約1,400名の会員が呉市内全域にあり、学校や行政の要望に応じて、教育ボランティア活動などに取り組んでいます。

【チーム・活動の体制】

◇活動開始年月：1961年1月

◇活動拠点：広島県呉市

◇活動範囲：市内全域

(人口21万3850人(令和3年12月1日現在))

◇会員：約1,400人

(元教員, PTA, 学生ボランティア, 地域協力者など)

◇連携機関等：幼稚園, 保育所, 小学校, 中学校, 高等学校, NPO, 行政(福祉保健部局・教育委員会・文化振興課・市民センターなど)

◇活動費：活動費のほとんどは賛同者の会費でまかっています。

【活動の対象】

妊婦とその家族

乳幼児期

小学生

中学生

高校生以上

の子供を持つ保護者・家庭

その他(小・中学生)

【活動場所】

幼稚園

保育所

小学校

中学校

高等学校

社会教育施設

福祉施設

保健センター等

企業

家庭(訪問等)

オンライン

その他(生涯学習センター, 市役所庁舎内)

【主な活動内容】

〈家庭教育相談〉

家庭教育・子育てについて、家庭教育相談部会のメンバー（元教員など）が保護者からの相談を受け、専門家としてアドバイスを行っています。呉市と連携して10月と2月に実施しています。（5日間×2回）

〈あつまってクレ〉

子供の学習支援事業として、社会福祉協議会と呉市生活支援課からの委託により実施しています。

毎週1.5～2時間、高校生・大学生・元教員のボランティアによるマンツーマンの学習支援や、看護学部学生による生活指導などの機会を提供しています。体験活動も年2回実施しています。

子供たちの居場所づくり、人間関係づくりの場となっています。

〈新井戸端会議〉

幼稚園・保育所で保護者・施設関係者・教育会のメンバーで幼児教育・子育てについて話し合い、保護者同士の悩みを共有し、専門家としてアドバイスも行っています。

〈ふるさと呉・昔話シリーズの執筆、編集〉

地域の文化を大切にし、子供たちに伝えることを目的に、呉市の各地域にまつわる昔話を「ふるさと呉・昔話シリーズ」として執筆、編集しています。



↑あつまってクレの学習支援



↑新井戸端会議での意見交流



↑あつまってクレの体験活動



←家庭教育相談に向けた研修、
打ち合わせ

ふるさと呉・→
昔話シリーズ



この他にも、小学生童話大会などへの支援、会員の研修会、広報事業など、様々な活動を通じて、呉市の教育を支援しています。

【活動の成果】

長い間積み重ねてきた相談方法や支援方法で、呉市の子育て世代が安心して子育てをできるようなまちづくりができています。

【今後の展望】

今後も未来を生きる子供たちの幸せを願い、学校教育、家庭教育、社会教育を様々な形で支援していきます。